



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12,NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00
(但し、12月・5月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌週土曜日 午後4：00

2016年8・9月合併号ブリテン 第315号

2016-2017年度主題(Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

「私達の未来は、今日より始まる」 (カナダ)

「ワイズ運動を尊重しよう」 (台湾)

「明日に向かって、今日動こう」 (川越クラブ)

「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」

「足元を固め更なる飛躍」

会長 御園生 好子
副会長 江原 修一
書記 長津 徹
会計 柴田 弘子
直前会長 大谷 博愛
担当主事 岡田 ナスカ

Our Motto 国際標語
国際会長 Joan Wilson
アジア会長 Tung Ming Hsiao
東日本区理事 利根川 恵子
あずさ部部長 浅羽 俊一郎
サンライズ会長 御園生 好子

9月第一例会のお知らせ

とき 9月8日(木曜日) 19:00~
ところ 東京YMCA山手センター
かいひ 500円
とうばん (参組)御園生、大谷、河野、菅原、中馬

◆プログラム

開会点鐘 会長
ワイズソング・ワイズの信条 一同
ゲスト・ビジターの紹介 会長
卓話 『今を読み、伝えること』
—東京新聞記者として市民と共に歩む—
東京新聞したまち支局長 鈴木賀津彦氏
テイスティング・タイム 一同
ハッピーバースデー 会長
協議・報告・連絡事項 会長・各担当
にこにこ・一分間スピーチ 出席者全員
閉会点鐘 会長

本音で語ろう会 例会の続きを“本気”で“本音”で
伊丹亭 21:15~

9月以降の予告

9月17日(土) 第二(お散歩)例会 場所未定 12:00~
10月13日(木) 第一例会 山手センター 19:00~
10月16日(日) 山手バザー 山手センター 10:00~
10月16日(日) 第二例会 山手センター 16:00~

7月第一例会報告

菟淵光彦

7月14日(木)19時から2016-17年度の東京サンライズクラブ御園生好子会長のキックオフ例会が山手センター101号室で行われた。当日は浅羽俊一郎あずさ部長(東京山手)部長公式訪問であり、浅羽あずさ部長とキャビネットの尾内昌吉部会計(東京山手)が出席された。御園生新会長による開会点鐘につづき、出席者全員起立してワイズソング斉唱とワイズの信条の唱和を行い、その後、会長交代式では大谷博愛直前会長から御園生好子新会長へ会長バッジの着装が行われ、晴れて引き継ぎが終了した。つづいて、御園生会長よりこの一年間のスケジュール確認をしながら、施政方針が述べられた。月々の例会では出欠の確認を月始めにメールで確実に早めにとること、交流では 【次頁へ続く】



【卓話者、日本YMCA研究所所長光永尚生さん】

9月のハッピーバースデー

14日 小野田 繁 さん
18日 江原 修一 さん

ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう
青少年のためにYMCAに尽くそう
世界的視野を持って国際親善を計ろう
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

7月・8月例会出席者

在籍 (Make up 1名) 18名
メン 12名 14名
メネット・コメット 1名
ゲスト・ビジター 13名
出席率 67% 78%

●8月のBF切手：0.0kg(累計：0.0kg) ●ニコニコ：7,405円(累計：7,405円) ●ブルタブ：0.0kg(累計：0.0kg)

8月国際大会でIBC台北ユニオンと大会での交わりを図り、10月には西条酒祭、DBC三クラブの合同例会を今年は京都プリンスの担当で行う。その他山手センターに所属する山手、サンライズ、たんぼぼ三クラブの合同例会を11月に行う計画が進められている事、9月には富士山五合目佐藤小屋に於いての富士五湖・東京サンライズ合同の富士山例会が予定されて、多岐にわたるクラブ間での交流が活発に行われている事が再確認された。ユースに関しては、2月に山手学舎に所属する学生さんとの交流で、恒例の山手学舎鍋パーティーは今年度も実施される。先の第二例会でも話し合われた事として、例会当番とブリテン当番は昨年度の組み合わせを踏襲するとして、第一例会の記事執筆者に関してのみ、会長の指名で当日の例会当番から例会終了時点で決められ、早期に執筆をして回覧、確認することとした。例会での当番の確認から、会長の指示により私がこれを担当することになった。尚、その他の原稿は第二例会において執筆担当者を決定する。

つづいて、部長公式訪問として浅羽あずさ部部長から「ワイズメンの皆様がお持ちの生かされていない賜物を、クラブとして部として如何に交流に生かして行けるかを発掘したい。10月22日にはあずさ部の部会があり、何か楽しい企画を考えます。」とご挨拶があった。

本日の卓話は日本YMCA研究所所長光永尚生(みつながひさお)さん(三島)による、「熊本大地震の復興支援と今後の取り組み」という題名のお話であった。光永さんとは2012年宮古ボランティアセンターのボランティアハウス開所式時に初めてお会いした記憶があったが、お話の冒頭で「サンライズとの初めての出会いは霞が関ビルの最上階で行われた東京サンライズ20周年式典の記念講演においてケセン語聖書を研究された山浦玄嗣(やまうら)はるつひ先生のお話をうかがったとき。」とのことであった。

光永さんと奥様は熊本のご出身で、光永さんは熊本YMCAに30年勤務された。2011年の東日本大震災発生時には日本YMCA同盟(四谷)に出向、東京ひがしクラブに担当主事として所属、その後3月後半には仙台YMCAに向かい、総主事として、盛岡ボランティアセンター、東京YMCA石巻センターにおいても東日本大震災の復興におけるフェーズ1にかかわり活動の支援をおこなった。そののち熊本に戻り3年後、今年3月から御殿場東山荘の研究所で勤務している。光永さんは4月14日の熊本大地震発生時には4度目の単身赴任で御殿場におられて、当日は懇親会のあと熊本から電話で震度7の地震が発生したことを知り、その後島田同盟総主事と堀口所長との電話打合せの結果、熊本出身の光永さん山根一毅さんお二人の熊本派遣が決定、翌15日午前4時御殿場発のエアポートバスに乗車、7時に羽田空港で山根さんと落ちあい二人で空路福岡空港へ向かい、九州到着後には二人の地の利を生かした方には陸路、益城町の運動公園に到着、熊本YMCAを通した避難所等での支援活動を開始された。その晩、2度目の震度7の地震に見舞われ、休んでいた時に、山根さんも光永さんもかなりの衝撃で飛ばされたとの事。ボランティアの職員は200名ぐらいいで、その中で被災された方が60%ぐらいいおられ、車の中で生活されるという状況の中で毎日通われているとの事だ。阪神淡路、中越、東日本、そして熊本という一連の被災地支援の中で、多くのワイズ及びYMCAのボランティアの方々は様々な経験値をもとに新たな情報と知恵を得て、その動きはきわめて高度なスキルであると認められている。特に今回は、熊本市の人口70万人の規模において、熊本にあるYMCA

15ブランチが活動地点として機能し、それぞれの地域の中で何ができるのかということをも十分考慮して、緊急支援活動に励んでいることが他のボランティア組織との協働の中でも認められている。そしてフェイスブックでの発信・受信が役に立ったことと、益城町のこれらの施設や御船町のスポーツセンターは指定管理施設としてYMCAが引き受けた施設である。御船町の担当者が「YMCAの話には夢がある。」と言ってくれたことには感激したとの事だった。南阿蘇YMCAには4つの保育園を抱えており、いまは道路や橋が寸断されており、山側の道がひとつだけ利用されており、今後の土砂崩れが起きないように祈るばかりである。これからどういう風に復興するか、熊本支援3~5年かかるとは思います、現地で頑張っている人たちを皆さん達でそっと寄り添う気持ちでネットワークを活用して応援して下さい、としめられた。

会長から光永さんに卓話お礼の挨拶のあと、ティスティングタイムの準備に移り、皆様からのお土産のお礼を述べた。

雑談ののち、ハッピーバースデーを斉唱、大谷直前会長、柴田公さん、中馬敏雄さんの誕生日をお祝いした。

岡田ナスカさんからのYMCA報告では、「6月27日~7月2日まで会員芸術祭が行われて242名の方が来場され、ご協力感謝。7月2日は第一回熊本地震の復興支援マラソンチャリティーコンサートのお知らせ、秋までシリーズで行われます。8月27日は夏祭りが行われます。9月22日第30回東京YMCAのインタナショナルチャリティーラン。山手センターのキャンプ順調におこなわれています。」とありました。

にこにこでは10月に山中湖で行う「シニアわいわいキャンプ」のポスターを持参されて、東京むかでの櫻井浩行さんが挨拶をされた。出席者全員のにこにこスピーチが一回りして、岡田主事が東山荘とAYCでSTEP II主事研修に入る旨の報告、御園生会長から今後のスケジュールの確認があった。

閉会点鐘をもってキックオフ例会は定時に終了した。

本音で語ろう会は伊丹亭で深夜まで行われ、盛り上がり続けた。

出席者：御園生会長、江原、大谷、小山(憲)、小山(久)、菰刈、柴田、長津、岡田主事

櫻井さん(東京むかで)、浅羽さん・尾内さん(東京山手)、板村さん・宮内さん・山口さん(東京武蔵野多摩)、服部さん・藤江さん(東京たんぼぼ)、光永さん(三島)、小林さん(学舎)

7月例会のワイン 担当 菰刈さん

・FAMILLE CASTEL Cabernet Sauvignon 2014 (FRANCE)
ラベルがサンライズの早起き鶏に似ていたの、衝動買い、ミディアム味もよかった。

健やかに熟したブドウ由来の繊細なチャーミングな、飲み心地のよいワインです。多くの方々にフランスらしいセパージュ(品種)ワインを楽しんで頂きたいという想いを込めてカステルファミリーがつけられました。

・日高見(純米吟醸) 担当 小山(憲)さん
石巻広域クラブ会長の平井さんの酒蔵の銘酒。石巻広域クラブのチャーター記念で販売されたもの。

7月例会のチーズ 担当 小山(久)さん

7月例会のパン 担当 菰刈さん

第二例会報告

染谷千妃路

7月23日(土)16時より山手センターで第二例会が行われました。

1. 納涼例会 8月11日(木) 16時から
有楽町・副都心線要町『藤香想』にて 会費4,000円
2. 評議会 2月11日(土) 山手センターを仮押さえ
3. 東京Y夏祭り
4. プリテン原稿

について話し合いが行われました。

例会終了後は、御園生会長、久恵さん、菅原さん、染谷とで、大谷さんオススメのお店で冷えたビールと美味しい料理で女子会でした。

出席者、御園生会長、大谷、小山(憲)、小山(久)、菰淵、菅原、染谷、長津

あずさ部なないろ評議会

小山憲彦

7月16日(土)11時より、中野サンプラザにおいて開催されました。出席者36名。議案は前年度の決算、監査報告。承認。部長の所信表明、東日本区役員会報告、直前部長の報告と謝辞、事業主査の活動方針と抱負の表明、各会長の所信表明、クラブの活動方針の発表があり、監事講評のあと、浅羽部長の閉会点鐘で終了。次に東京西クラブ40周年記念例会を控え、時間が心配されたが杞憂に終わり、整齊とプログラムをこなし、時間通りに閉会できた。

サンライズの出席者、御園生会長、小山(憲)、小山(久)、菰淵、菅原、長津

東京西クラブ40周年記念例会

小山憲彦

7月16日(土)13時30分より、中野サンプラザにおいて開催されました。40年前に同じ場所でチャーターナイトを行ったそうです。チャーターメンバーが5人おられ、庄野さん、堀内さんは欠席でしたが、第一部の例会では、山田さんが40年の思いを込めた祈禱、竹内さんが謝辞を述べられ、吉田さんは司会で頑張っておられました。40年も同じクラブでず〜っと頑張っておられた…サンライズでも真似ができるか。記念講演は早稲田大学・サントリー・日本代表で活躍されたラグーマン今泉 清さん。現在は人材育成コンサルタントととしてご活躍で、「ラグビーのリーダーシップ・チームワーク・ポジティブ思考」と題したお話でした。生い立ちから、学生時代、社会人の頃のエピソードを交え、考え次第で人間は伸びると…、教えられました。第二部は会場を移して、立食での祝会でした。海外、東西日本区からの136人の参加者でさすがに会場は芋を洗うようでしたが、ウェルカムコンサートに始まり、祝辞やら、YMCAの留学生への奨学金授与やら、盛りだくさんのプログラムでした。

終了後、33人のあずさ部の呑み助たちで二次会・三次会と盛り上がりました。この時のニコニコは、熊本大地震復興支援に寄付されました。

出席者：御園生会長、大谷、小山(憲)、菰淵、菅原、長津

東京多摩みなみチャーターナイト

小山憲彦

7月17日(日)16時より、今年度東日本区最初のチャーターナイトが多摩センターのContiで開催されました。

チャーターメンバーは15名(内3名は移籍)、多摩センターを中心に地元に着した奉仕活動をされるそうです。マスコットキャラクターはポンポコたぬき。多分平成たぬき合戦にちなんだものとお見受けしました。石田会長以下、比較的(ワイズとしては)若いメンバーで、これからの活躍が大いに期待できます。多士済々の新クラブの活動が楽しみです。

長野クラブ7月例会参加報告

長津 徹

7月20日、長野クラブ第一例会に部長公式訪問のお付きで参加しました。大宮発16時50分の「かがやき」で長野へ。長野でミスコースも少々あったが、ぎりぎりの18時半には例会場の「レストランやま」に滑り込んだ。例会場の2階会議室は長野オリンピック当時のスイスチームのカンファレンスルームで、様々なポスターや記念品が展示されている。部長のお付きは部書記の小山久恵さん、武蔵野多摩クラブ会長山口君、区事務所から小山憲彦君、総勢5名が東京からの参加。

例会は開会点鐘、ワイズソングの後、奇数月は聖句でなく仏句が詠まれた。ビジター紹介の後、総会形式で前期の活動報告、決算、新年度の事業計画などが話し合われた。その後部長挨拶、ニコニコと続き、閉会点鐘後会場を屋上のビアガーデンに移動して懇親会となった。涼しい長野の夜を堪能して、帰りの新幹線「はくたか」に乗り込み大宮までの1時間ビールを飲みながら過ごし、その日のうちに帰宅することができた。初めての長野日帰りの旅だったが、時間的には近い旅だった。

8月第一(納涼)例会報告

河野伸子

8月11日は納涼例会でした。会場は要町の商店街を進んで行った、藤香想という素敵なお店でした。広い庭の中に建てられた、木造りのロフトのような感じのお店です。当日は第二木曜日でしたが、今年からの休日(山の日)に当たっているため、会は午後4時始まり。私が大幅に遅刻した時には、例会の議事進行の気配は全くなく、手作りのお料理と、各自好みの飲み物で、盛り上がっていました。台湾の国際大会の帰国後直ぐの会員も多くその話や、珍しいスイスワインをお土産に持ってきてくれたメンもいて、色々外国の話題が多く出ました。私はあまり外国旅行に行った方ではないので、話が面白く、そのうち国際大会にも行けたらいいなあ！と聞いていました。

会の終盤、島田さんがギターを取り出し、皆で歌うことになりました。サプライズ?と思いきや、彼は何枚も歌詞付き楽譜を用意していました。それが40年から50年程も前の日本のグループサウンズ時代からフォーク時代の古い物ばかりなのです。皆「えっ」と言いながら、すぐに大合唱になるのは…年齢? いえいえ、若い頃キャンプファイヤーで歌った懐かしい経験からなのでしょう! 何曲も歌い、若者に戻ったような気分良さで、閉会点鐘が鳴り、会は終わりにになりました。

出席者：御園生会長・江原さん・大谷さん・小野田さん・小山(憲)さん・小山(久)さん・河野さん・菰渚さん・柴田さん・島田さん・菅原さん・立田さん・長津さん・絹子メネット・正村さん(参遊會)・松本さん(会長友人)・神谷さん(東京西)・渡辺大輔さん(東京武蔵野多摩)

遅れてきた小野田さんを囲んでの二次会が近所の居酒屋で行われ、さらに夜遅くまで盛り上がりました。相変わらずサンライズは飲む話になるとすぐにまとまり、いつまでも飲み続けるのでした。

8月第二例会報告

柴田弘子

8月27日(土)16時より伊丹亭に於いて、山手センターでの例会を持つことが出来なかった為、開店前の伊丹亭の席をお借りして例会を開催しました。

話し合われた議題。

- ・9月24日(土)富士山例会出席者の確認
- ・9月第一例会卓話者の確認

島田メン紹介の鈴木賀津彦氏(東京新聞)について

- ・CS写真コンテストへの応募。

山中クリスマス等心して写真を撮る。

- ・9月17日(土)お散歩例会。場所は未定
- ・ブリティン8月、9月合併号の原稿割り振り

終了後、飲食をしながらの本音で語ろう会は、早めの20時過ぎに閉会しました。

出席者：御園生会長、小山(憲)、小山(久)、菰渚、柴田、長津

第72回国際大会

小山久恵

8月4日(木)から8月7日(日)まで、台北のグランドホテルとエキスポドームにおいて開かれました。サンライズのメンバーは、ゴルフ組が2日に出発し、3日のRBMゴルフ大会に参加、ゴルフしない組は3日に発ちました。

大会は4日の午後からだったため、午前中、加藤さんのグループに入れていただき、テレサテンのお墓と野柳公園を観光し、昼食はディンタイフォンで小籠包や各種餃子を味わいました。野柳公園は、面白い形をした岩があちこちにあり、なかなかの景観でした。

開会式のフラッグセレモニーでは、参加者がいない国が多く見受けられました。キーノートスピーチはAIの話で、面白かったです。IPIP(直前国際会長)ナイトでの台湾伝統芸能のパフォーマンスは圧巻でした。

翌日5日の午前中は、西村さんによる国際書記長報告があり、エドワード前アジア地域会長からの表彰では、サンライズクラブも、台湾地震に寄付した件で賞状をいただきました。島田さんが、日本のYMCA活動を報告していました。午後にはフォーラムと地域会議がありました。この日の夜から会場は、グランドホテルからエキスポドームに移りました。花博の跡地利用というこのドームは、コンクリート打ちっ放しに囲いと屋根を付けただけの、横浜パシフィコをグリーンとちやちくした感じです。音響設備が劣悪で、マイクを通した声はあちこちで跳ね返り、ほとんど聞き取れませんでした。IPE(次期国際会長)ナイトでは各国が

芸を披露しました。

6日午前にはIBC締結式、ドーム外のマーケットを見学の後、午後は各自エクスカッションに出かけました。私はあぶれたので、徒歩でエキスポパーク内の美術館に行くツアーに入り、途中でホテルに帰りました。IPナイトでは国際会長の方針演説、台北ユニオンのケンとケニスの進行による各国代表のパフォーマンスがありました。ユースのメンバーも合流し、サンライズがサポートした小林君も楽しんでいるようでした。

最終日は日曜礼拝、ユース報告、次回開催国である韓国のアピールがあって閉会式となりました。

サンライズのメンバーはこの夜、中華料理ではなく、ステーキを食しました。オーストラリア産和牛、美味でした。

8日、ゴルフ組はゴルフへ、私と絹子さんは淡水まで足を伸ばしました。夜、ユニオンとのIBCナイトを持ち、9日(火)帰国しました。

この大会で、オーストラリアのラッセル、ジェニファー夫妻とクリスティンに再会し、色々な場面で交流できて良かったです。一方、ゴルフしない組の私たちは、ユニオンのメンバーとあまり交わりませんでした。何かなあ〜って思いです。

参加者：御園生会長、小山(憲)、小山(久)、島田、立田、長津・絹子メネット

IBCナイト

御園生好子

四日間に亘る国際大会も終え、最後の行事はIBCナイトです。当日ゴルフ組はケニスがクラブメンバーであるアーノルド・パーマー設計のFORMOSA FIRST COUNTRY CLUBへ。台湾的暑さで(此处で救急車を呼んだら皆の迷惑になるし...)私はハーフでギブアップ。シャワーを浴びサッパリしたところでIBCナイトの会場、松山にあるイタリアンレストランへ。台湾で食べるイタリアン...とっても美味しかった!

アルヴェン会長から記念の中国茶のお茶碗を戴いたり、サンライズクラブからのお土産、ミニバナー等を差し上げたり和気あいあいの一時を過ごしました。

台北ユニオンクラブは国際大会の打ち上げも兼ねていたらしくそちらの方で盛り上がっている様でしたので私達は頃合いを見計らっておいとしました。

これでスケジュール全て終了。翌日は日本へ帰国です。



【写真では見えませんが、立派なオーディオ(カラオケ)設備と生演奏のステージも有りました。】

教育比較論

大谷博愛

私の息子と娘のそれぞれの家庭に小学校4年の孫がいます。両家はきわめて対照的な子育てをしています。子供の教育にジジ・ババは口を出す立場ではないと思っていますので、私は側面からただ見ているだけにしています。

娘の孫は塾に通って、この夏休みも夏期講習に明け暮れています。とはいえ、世の教育ママほどではなく、この孫も毎週土日は少年野球チームで練習に励んでいます。一方、息子の孫はサッカーチームに所属していて、学校の宿題をやる以外はほぼ遊んで暮らしています。もし素材の能力が同等なら、娘の孫が各種の試験に強いのは当然です。そして、こうした状況がこの先も続くなら、進学して行く学校もそれぞれに応じた偏差値の学校ということになるでしょう。ここまではある程度の予測がつかます。しかし、学校を終えた後、どのような社会への出方をするのか、どのような社会的ポジションに就くのかは分かりません。そして、彼ら自身にとって幸せだったのかというレベルになると、さらに見当が付きません。教育の結果が出てくるのは時間が掛かることで、その結果が本人にとってどのような意味を持ったのかを評価するのは簡単なことではありません。さらに、社会的にはともかく個人的には後戻りができないわけですから、教育問題は非常に難しいものです。どういう結果になるのか、この先私は見守って行きたいと思います。

部長公式訪問随記その2

小山久恵

7月14日(木)は我が東京サンライズ。菰渕さんの第一例会報告をご覧ください。19日(火)、東京山手で浅羽部長のホームクラブ。私めが卓話をさせて頂きました。ビジターでお出かけの、久保田さん(東京八王子)、藤江さん、服部さん(東京たんぼぼ)は、何度も同じ話を聞かされ、お気の毒でした。翌20日(水)の長野クラブは長津さんの報告をご参照下さい。その次の日21日(木)は東京西。40周年記念例会が終わった直後で、皆様ホッとした感が満ちていました。卓話者は浅羽部長で、彼のバックグラウンドを知る事ができました。

7月はこれで終了。9月に東京たんぼぼと富士五湖、11月の東京八王子でひととおりの事になります。

9月の強調月間：ユース

ユース委員会

ワイズメンズクラブが行なう様々なプログラムに若者を巻き込むことを実践する。

- ①ユースコンボケーションの支援
- ②ユースボランティア・リーダーズフォーラム開催
- ③ユースクラブ設立支援

サンライズでは、今年8月に台湾で開催されたIYC(国際ユースコンボケーション)に参加した学舎の小林君を支援しました。また、毎年2月に山手学舎で舎生と共に例会を開催して交流を図っています。

東日本区ニュース 第2号

東日本区ニュース 第3号

2016年8月1日・9月1日発行

東日本区理事 利根川恵子

メンバーの皆さまには、会長よりメール添付で配信します。

ご近所のクラブでは

交流委員会

あずさ部では部内交流に力を入れております。隣のクラブをのぞいて見ることでワイズの輪が広がり、ワイズの和も深まります。ぜひ他クラブ訪問を実行してみてください。

- ◇ 9月 6日(火)19:00～ 甲府21クラブ
- ◇ 9月 9日(金)20:00～ 富士五湖クラブ
- ◇ 9月10日(土)18:00～ 東京八王子クラブ
- ◇ 9月10日(土)18:30～ 松本クラブ
- ◇ 9月13日(火)18:30～ * 東京たんぼぼクラブ
- ◇ 9月13日(火)18:45～ 甲府クラブ
- ◇ 9月14日(水)19:00～ 東京武蔵野多摩クラブ
- ◇ 9月15日(木)18:45～ 東京西クラブ
- ◇ 9月20日(火)18:30～ 東京山手クラブ
- ◇ 9月21日(水)18:30～ 長野クラブ
- ◇10月 4日(火)19:00～ 甲府21クラブ
- ◇10月 8日(土)18:00～ 東京八王子クラブ
- ◇10月 8日(土)18:30～ 松本クラブ
- ◇10月11日(火)18:30～ 東京たんぼぼクラブ
- ◇10月11日(火)18:45～ 甲府クラブ
- ◇10月14日(金)20:00～ 富士五湖クラブ
- ◇10月18日(火)18:30～ 東京山手クラブ
- ◇10月19日(水)18:30～ 長野クラブ
- ◇10月20日(木)18:45～ 東京西クラブ

富士五湖クラブ「富士山」合同例会

交流委員会

第14回富士山例会のご案内(富士五湖クラブとの合同例会)

2016年9月24日(土)～25日(日)13:00 富士河口湖町集合
富士山、富士吉田口五合目「佐藤小屋」にて開催、部長公式訪問。
参加費：10,000円(宿泊・BBQ・朝食・御来光参拝付き)
日帰り参加もOKです。ぜひご参加ください。

会費納入のお願い

今年度第1期の会費の納期は8月末日ですので、お忘れなく納入をお願い致します。東日本区の区費の納期は8月15日です。

- 一括納入 一括全納(8月末) 48,000円
- 二回分割納入 各回毎に(8,1月末) 24,000円

※本年度も災害時積立て金として、初回納入時のみ2,000円を追加して納めてください。年額合計50,000円になります。

○三井住友銀行 恵比寿支店 普通口座:6762355

○口座名 東京サンライズワイズメンズクラブ

西条便り

今月は休載します

今月の京都プリンスクラブ Vol. 62

京都プリンスクラブ 澤田哲平さん

7月の第一例会は、滋賀県のサバエキャンプ場にて開設ワークを行いました。

朝はどんよりグレーで覆われた空で今にも降り出しそうな様相でしたが、キャンプ場に到着すると雨どころか、ぐんぐん気温が上がり晴ればれとした天気。炊事場やシャワー棟周辺の草刈や掃除、枯れた松の木の伐採など、メンバー皆で充実した汗を流しました。熱中症が心配されましたが、こまめな水分補給と休憩のおかげで事故もなく無事終了。

第二例会は、グランドプリンスホテルで定時総会を開催。昨年引き続きですが、蒔田会長期が新たにスタートしました。昨年度の総会議案、今年度の議案が可決されました。

8月の強調月間：CS

地域奉仕委員会

CS(Community Service)

◇活動としてのCS(地域社会奉仕)

各クラブは区のCS資金の募金・運用活動に参加すると共に、関係YMCAと協力してその地域社会の求めに応える奉仕活動の実践を心がける。従ってCSとは、大は地域社会の、小は近隣社会の隣人への奉仕活動であるといえる。

◇CS資金の募金・運用活動

お年玉付き年賀ハガキの当選切手シートを抛出することにより集められて来たが、近年一人当たりの目標額が定められたことにより現金での抛出が増えて来ている。東日本区、あずさ部の目標額はそれぞれ1,250円となっている。東日本区では日本YMCA同盟の申請に基づき、あずさ部では部内各クラブのCS活動を支援するために、クラブから申請のあった事業内容を検討して、助成金を配分している。

◇サンライズのCS活動

やっま中子センターでの「地域の子どものためのクリスマス」のお手伝いをしている。何か新しい地域に密着した奉仕を模索しているがなかなか見つからない。

編集後記

8月は国際大会に行く前になんとかブリテンを発行しようと頑張ってみたのですが、結局出発までに間に合わなく、帰ってきたらすぐにとの思いもむなしく、台湾で冷房にやられ大風邪を引いてしまい、帰国後は体調が回復せずに、第一例会、第二例会も過ぎてしまい、結局発行できずに終わってしまいました。70の声を聞いたらとたんに気力も体力も衰えが目立ってきました。と、言い訳しながら9月のブリテンも結局例会に間に合わず、今頃こっそりと発行しています。9月10日とワイズの行事も目白押しになります。気を入れ直して(できるかな?)、もう少し頑張ってみようと思っています。乞う!ご期待。

(Non.O)

山中湖センターだより

今月は休載します

YMCA News

山手センター 岡田ナスカさん

1. 8月8日、江東区児童・高齢者総合施設「グランチャ東雲」が利用者累計100万人を達成した。江東区関係者も訪れる中、100万人目の利用者となられた方には花束を贈呈。当日の様子は江東ケーブルTV「ワイドスクエア」でも放映された。高齢者と親子連れの“三世代交流”も盛んなグランチャ東雲には、1日約550人、年間20万人の地域住民に利用されている。
2. 8月27日、「東京YMCA夏まつり」が開催された。海鮮焼やかき氷などの各模擬店、子どもゲームコーナーなどが出店し、例年と変わらず大賑わいであった。にほんご学院の留学生や、高等学院・libyの生徒たちも模擬店を手伝い、若い方々の活躍もあり約60万円の益金を得ることが出来た。
3. 9月22日、「第30回インターナショナルチャリティーラン」を都立木場公園にて実施する。30周年となる今年は、大会アンバサダー(大使)として、バレーボール元日本代表の川合俊一さんも来場予定。30年間欠かさず開催し、これまでのランナー数は累計11,226人、参加チームは延べ1866チーム、支援金は1億8千万円を越えており、今年も賑やかな会となることが期待されている。
4. 10月8日～10日、YMCAに関わるすべての人を対象に「第19回日本YMCA大会」が東山荘にて開催される。YMCAの活動の原動力となるユースと、良き理解者/メンターであるシニアが、未来のYMCAを深く語り合い、互いに学び合うことが出来る場を目指して、世界YMCA同盟チェンジ・エージェントやアジア・太平洋YMCA同盟ユース・レプス、同盟ユース委員等のユースが中心となり現在準備を進めている。
5. 9月4日(日)に新宿区の防災フェスティバルが戸山公園にて開催され、東京YMCAから山手コミュニティーセンターが参加をした。山手センターのリーダーたちによって子ども向けの防災のプログラムを実施し、約500名の子どもの来場者があり大盛況であった。当日は雨から始まりその後は良い天気の中、防災フェスティバル全体で約3000名の来場者があった。
6. 今後の主な行事日程
 - ・第30回インターナショナルチャリティーラン 9月22日(都立木場公園)
 - ・第47回全国YMCAリーダー研修会 10月8日～10日(神戸YMCA余島センター)
 - ・第19回日本YMCA大会 10月8日～10日(東山荘)
 - ・第33回会員ソフトボール大会 10月10日(出版健保グランド)